

基本目標1. 「住みたい、住める」暮らしを支えるまちづくり 【数値目標：南上原地区を除く地区における転入者数 ●●人】

基本的方向	具体的な施策	施策ごとの重要業績評価指標 (KPI)	具体的な事業例 ※は担当課と今後調整
<b>■新しいまちづくりの推進</b> 南上原地区の土地区画整理事業を確実に推進し、村の安定的な人口増加を担保する。 また、他の地区においては、既存宅地における住宅開発の促進と、将来的な住宅供給に向けた土地利用の見直しを進める。 さらに、公共施設の集積化における住民サービスの拠点形成を推進する。	①土地区画整理事業の推進	南上原土地区画整理事業保留地処分進捗率：100%	・南上原土地区画整理事業
	②新規市街化区域の拡大に向けた取り組み	拡大に向けた検討会議の開催：●回	・久場・泊地区市街化編入事業 ・北上原地区等における土地区画整理事業B調査 ・都市計画マスタープラン改定
	③既存宅地における住宅開発の促進	既存宅地における新規住宅建設：●棟	※既存宅地における住宅建設広報周知事業
	④定住環境向上のための公園等施設整備	各種公園の新規設置数：5箇所	※各種公園等整備事業
	⑤公共施設の集積化の実施	豊かな暮らしサービス拠点の検討及び整備：1箇所	・役場庁舎建設事業 ・都市計画マスタープラン改定
<b>■農のある住環境の整備</b> 市街化調整区域内における住宅建設を促進させるために、優良田園住宅制度や都計法34条緩和制度の周知を図りながら、農地の保全と活用に向けた土地利用の検討及び利用拡充を図っていく。	①優良田園住宅制度の利用拡充	優良田園住宅制度の周知度：●%	
	②都計法34条緩和制度の利用拡充	緩和制度を利用した住宅建築：●棟	
<b>■公共交通網の拡充</b> 児童生徒や学生、高齢者などの交通弱者に対して、コミュニティバスやデマンドタクシーによる公共交通の運行を継続する。 また、利便性向上の一環として、周辺市町村が実施するコミュニティバスとの連絡乗り継ぎの拡充を図る。	①護佐丸バスの利用促進	護佐丸バスの利用者数：●人/年	・護佐丸バスの運行
	②護佐丸タクシーの利用促進	護佐丸タクシーの利用者数：●人/年	・護佐丸タクシーの運行
	③周辺市町村との連携	村外への乗り継ぎ乗客数：●人/年	※周辺市町村との調整
<b>■地域防災体制の育成・充実</b> 地域における防災対応として、実質的な防災訓練や自主防災組織の編成等を推進し、住民の防災意識を向上させる。 防災意識の向上により、自らの命を守ると同時に、災害時要援護者支援等の取り組みを強化する。	①自主防災組織の育成・強化	防災訓練・避難訓練実施数：●回/年	・自主防災組織補助金交付事業
	②地域防災体制の整備・充実	自主防災組織数：●組織	・防災行政無線機能強化事業 ・防災体制整備事業 ・世代間交流・人材育成・防災避難拠点施設整備事業 ・災害時要援護者台帳整備事業
<b>■村民参加に支えられた協働による村づくり</b> 村民一人ひとりが村政への関心を高め、情報を共有し、現状の課題に共通認識を持ちながらそれぞれの役割を認識する。将来的な村民発意のまちづくりへとつなげていく。	①地域活動の活性化と住民活動組織の育成	村内のNPO法人認証数：●件	・コミュニティ助成事業
	②村民が参加・活躍する場の充実	各自治会におけるイベントの開催：●回	・自治会活動活性化補助事業
	③地域コミュニティの育成支援	行政懇談会参加者数：●人	※行政懇談会への参加を促す広報周知

基本目標2. 「産みたい、育てたい」若い世代を支えるしくみづくり

【数値目標：合計特殊出生率 ●●人】

基本的方向	具体的な施策	施策ごとの重要業績評価指標（KPI）	具体的な事業例 ※は担当課と今後調整
<p><b>■出産から子育てまでを包括した支援体制の構築</b></p> <p>出生数が増加計画における本村においては、特に増加する0～2歳児の待機児童数ゼロに向けた取り組みを推進しながら、出産から子育てに至る包括的な支援体制の構築に努めていく。</p> <p>また、限られた財源の中で、資金面での支援が難しい場合には、相談員制度やサークル活動への積極的な参加を促し、出産、子育てにおける保護者の不安解消に取り組んでいく。</p> <p>さらに、これらの支援情報に対して、妊婦や保護者が容易にアクセスできるように、子育て支援サイトを設け、広く周知を図っていく。</p>	①母と子の健康管理の充実	乳児一般検診受診率：●％ 1歳6カ月検診受診率：●％ 3歳児検診受診率：●％	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども医療費助成事業</li> <li>乳幼児健康診査事業</li> <li>未熟児養育医療事業</li> </ul>
	②母子保健サービスの充実	妊婦健康診査受診率：●％ 母子保健推進員への相談件数：●件 妊産婦対象の相談窓口の利用数：●件	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健地域活動事業</li> <li>母子保健訪問指導事業</li> <li>妊婦健康診査事業</li> </ul>
	③保育環境の充実	0～2歳の待機児童数：0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>延長保育事業</li> <li>小規模保育事業</li> <li>認可外保育所に対する補助事業（新すこやか保育事業）</li> <li>待機児童世帯助成事業</li> <li>第3子以降保育料無料化事業</li> </ul>
	④子どもが安心して遊べる場の創出	児童館の利用者数：●人 各種公園の新規設置数：5箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館運営事業</li> <li>※各種公園等整備事業</li> </ul>
	⑤子育てにおけるバックアップ体制の強化	第3子以降出生数：●人	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童医療費助成事業</li> <li>ひとり親家庭の学童保育料助成事業</li> <li>中城村第3子以降学校給食費助成事業</li> </ul>
	⑥児童相談・援助制度の活用促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>要保護児童対策事業</li> </ul>
	⑦包括的な出産子育て支援の情報発信	ホームページアクセス数：●件	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援サイト作成運営業務</li> </ul>
<p><b>■小学校ごとの特長を活かした教育の充実</b></p> <p>下地区の小学校、特に津覇小学校における児童数の減少に対しては、基本目標1に基づく校区内への若い世帯の居住促進に加え、小学校そのものの魅力を向上させ、通わせたい、通ってみたい小学校づくりを目指し、各校が独自の教育カリキュラムの企画推進を図っていく。</p> <p>また、支援を必要とする児童生徒を対象とした支援策を推進し、学力の向上を図っていく。</p>	①教育カリキュラムの充実	小学校独自の教育カリキュラムの実施：●件	<ul style="list-style-type: none"> <li>「護佐丸」「中城城跡」を通して中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト</li> </ul>
	②支援を必要とする児童生徒への教育の充実	学習支援員・特別支援員の配置：全校 放課後補修講座の開催：●回/週	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごさまる学力パワーアップ事業</li> </ul>
<p><b>■郷土愛と健康を育む食育の充実</b></p> <p>学校現場における村内産農水産物の使用を通じて、子どもたちの身体と心の健全な育成を図るとともに、村の産業の理解を通じて、郷土愛を育んでいく。</p> <p>また、学校での取り組みをきっかけとして、家庭や地域における食生活の改善へと繋げていく。</p>	①学校教育を通じた食に対する知識の向上	学校給食における村内産農水産物の使用率：●％	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育充実事業</li> </ul>

基本目標3. 「住み続けたい」定住を実現する暮らしづくり

【数値目標：村人口 ●●人】

基本的方向	具体的な施策	施策ごとの重要業績評価指標（KPI）	具体的な事業例 ※は担当課と今後調整
<p>■暮らしを支える住環境の質の向上</p> <p>暮らしを支える住環境づくりを推進していくために、それぞれの集落の立地や環境特性、村民要望に十分に配慮したうえで、住環境整備及び支援策を実施していく。</p>	<p>①定住しやすい住環境の創出</p>	<p>下水道接続率：●%</p> <p>村道整備路線数：●箇所</p> <p>合併処理浄化槽の設置件数：件</p>	<p>※下水道整備事業</p> <p>※村道整備事業</p> <p>・合併処理浄化槽設置補助事業</p>
<p>■生涯にわたって活躍できる社会教育の充実</p> <p>高齢化の自由に使える時間の増大を背景に、村民の生涯にわたる学習機会を創出し、生きがいを目的としたさらなる推進・発展を目指す。</p> <p>そのために、文化協会や各種文化団体等の実施する文化事業、さらには村体育協会、村子ども育成連絡協議会に対する支援を継続し、参加促進のための広報周知の充実に努める。</p>	<p>①生涯学習・人材育成の拡充</p> <p>②生涯学習体制の支援</p> <p>③生涯スポーツの推進・支援</p>	<p>各種団体・サークル・同行会数：●団体</p> <p>各種生涯学習イベント開催数：●件</p> <p>生涯学習講座・教室数：●件</p>	<p>・社会教育団体育成事業</p> <p>・放課後子ども教室推進事業</p> <p>・学校支援地域本部事業</p> <p>・生涯学習講座</p> <p>・スポーツ団体育成事業</p>
<p>■若い力を活かす琉球大学との官学連携の推進</p> <p>新しい村政を実現していくために、琉球大学との連携に基づき、学生の派遣を行う。</p> <p>各種団体・サークル・同行会の協働開催や、学生の講師派遣、また高齢者や子どもとの交流イベント等を通じて、若い力を村の活力育成に活用していくことを目指す。</p>	<p>①琉大生を活用した活動支援の展開</p>	<p>村事業における琉大生の派遣登録人数：●人</p>	<p>※</p>
<p>■村外に向けた定住促進 PR の推進</p> <p>定年後に沖縄県内への移住を考える県外及び那覇市在住者をターゲットとして、セカンドライフの場所としての中城村をPRする。</p> <p>村で取り組む優良田園住宅制度や、既存宅地制度や住宅緩和制度の周知を図ることで、移住者の獲得に努める。</p>	<p>①住宅供給のマッチング推進</p>	<p>移住者獲得に向けた各制度の周知による住宅建設数：●棟</p>	<p>※PRホームページ開設</p> <p>※那覇市、空港及び県外における広報事業</p> <p>※移住資金支援事業</p>
<p>■公共施設の整備・活用</p> <p>護佐丸歴史資料図書館の建設、さらには村役場の移転が予定されている吉の浦地区において、下地区における集客機能を持った新しい村のサービス拠点形成を推進する。</p>	<p>①豊かな暮らしサービスの整備</p>	<p>護佐丸歴史資料図書館入館者数：●人</p> <p>吉の浦会館利用者数：●人</p> <p>各種サービスへの庁内会議の開催：●回</p>	<p>・役場庁舎建設事業</p> <p>・都市計画マスタープラン改定</p>

基本目標4.「働きたい、訪れたい」豊かな資源をいかしたしごとづくり

【数値目標：村内での新規就労者数：●人、村への観光入込客数：●人】

基本的方向	具体的な施策	施策ごとの重要業績評価指標（KPI）	具体的な事業例 ※は担当課と今後調整
<p><b>■農水産業の振興</b></p> <p>村内の農水産業は、高齢化による後継者の減少等が課題となっているが、新たな販売ルートの開拓、地産地消の促進、農水産物のPR、新規就農者を受け入れる仕組みの確立等により振興を図っていく。</p> <p>特に農業においては、充実した農業生産基盤と都市近郊という立地特性を活かし、高付加価値で消費者の需要に対応した高品質な農産物の主要形成による安定した農家所得の確保や新たな農業の動向に対応した農業生産環境の整備拡充を図っていく。</p>	①収益向上のための取り組みの推進	農業生産量：7,700 t	わったー島ヤサイ産地力強化事業 島にんじん栽培研究事業
	②後継者の育成	新規就農者数：24人	青年就農給付金事業
	③新たな農業施策の展開		※
	④遊休農地の管理・活用方法の検討		※
<p><b>■商工業の振興</b></p> <p>久場・泊地区における市街化編入に伴う企業誘致を柱とし、新規企業と既存企業の発展を両立させた取り組みを推進する。</p> <p>また、今後国道329バイパスの整備に伴い、村南部における土地利用の見直しにあわせて、企業誘致の受け皿としての位置づけを行う。</p>	①村民ニーズに対応した企業誘致の実地	企業誘致数：●社	沖縄地域産業立地推進協議会
	②企業立地環境の改善と産業育成		※
<p><b>■特産品の開発・販売</b></p> <p>現状において個人規模での取り組みに留まっている特産品開発を、組織的に取り組むことによる効果と継続性の向上に努めていく。</p> <p>さらに、行政、農協、漁協、小交換、生産団体、民間の連携による広報活動を展開し、販路拡大を進めていく。</p>	①特産品開発等の推進	新規特産品開発数：2件	※
	②新たな販売ルートの確立	新規特産品販路数：2件	※
	③効果的な情報発信の実施	特産品売上額：●円	※
<p><b>■観光の振興</b></p> <p>本村の観光において核となる中城城跡を中心に、新たな観光資源の開発やグリーンツーリズム等の展開を農業、漁業の振興、活性化と併せて検討していく。</p> <p>さらに、本村の恵まれた環境特性や既存施設等を活かし、個性的で魅力ある地域づくりや産業の多様化、スポーツイベントなどに連動した観光・ツーリズムの振興施策を展開する。</p>	①中城城跡及び周辺の計画的な整備の推進	中城城跡での観光客数：150,000人	世界遺産中城城跡プロジェクションマッピング事業 護佐丸クロニクル制作事業 中城ワールドシアター
	②観光客の受入態勢の整備	民泊宿泊者数：●人	※民泊推進事業
	③新たな観光プログラムの創出		プロサッカーキャンプ支援事業
	④広報・PRの充実	中城村観光情報サイトへのアクセス数：●人	護佐丸を活用した中城村PR活動促進事業